

## 大阪府森林環境税(R6～10)の評価指標 (案)

事業名	事業実績【毎年評価】の合計		事業効果【中間評価(R8年)・最終評価(R11年)】※猛暑対策以外	
	計画	検証方法	期待する効果	検証方法
集水域(森林区域)における 流域治水対策事業	◆流域治水対策の実施 23地区	◆事業の完成検査	◆流域治水における集水域の役割である 森林の洪水緩和、土砂流出防止機能の適 切な発揮	◆事業実施地区の効果検証
	(山地保水力の向上対策) ○流域治水対策ダム等 設置基数  ○森林整備 整備面積		(山地保水力の向上対策) ○洪水ピーク流量の軽減  ○山地保水力の向上	(山地保水力の向上対策) ○流域治水対策ダムによる洪水ピーク流量の軽減量 (現地計測による)  ○森林整備による斜面の流出抑制量 (現地計測による) ○森林土壌の保持・形成状況を調査 (筋工背面の土砂・落葉等の堆積厚を測定) (林内の植生被覆状況の測定)
	(土砂・流木流出抑制対策) ○流域治水対策ダム等 設置基数  ○流木対策 実施延長		(土砂・流木抑制対策) ○河川への土砂の流出抑制  ○流木の発生抑制	(土砂・流木抑制対策) ○河川への土砂の流出抑制 ・流域治水対策ダム等による土砂抑止量 (溪流の縦横断面形の変位を調査)  ○流木の発生抑制 ・対照地(対策未実施区)との流木発生の比較調査
府民も利用する森林管理施設の 安全対策事業	◆安全対策の実施 40箇所	◆事業の完成検査	◆府民も利用する自然公園内の管理道等 の森林管理施設を改修し安全性を確保	◆事業実施箇所の効果検証
	(管理道等改良、落石対策) ○管理道等 改修箇所数  ○落石対策 実施箇所数		(管理道等改良、落石対策) ○歩道の崩壊等の防止  ○落石の防止	(管理道等改良、落石対策) ○管理道の崩壊等の有無 ・春季、秋季及び台風等豪雨後の自然公園施設点検で、 管理道の崩壊等の有無を確認  ○落石の有無 ・春季、秋季及び台風等豪雨後の自然公園施設点検で、 落石の有無を確認
	(トイレ等の改修) ○トイレ 改修棟数		(トイレ等の改修) ○利便性の確保 ○環境性能の向上 ○安全・安心な施設	(トイレ等の改修) ○利用者数 ○環境に配慮した仕様の付加(国産木材の使用など) ○緊急時の一時避難や雨宿り機能の付加
都市緑化を活用した 猛暑対策事業	◆猛暑対策の実施 6箇所～10箇所程度	◆事業の完成検査 ・整備内容の報告	◆暑熱環境改善効果の発現 (WBGTの低下 基準値2.0℃以上の 低下)	◆WBGTの測定 対策実施地点と未実施地点の測定値の比較によりWBGTを測定(マ ニュアルについては必要に応じて改正)基準値2.0℃以上の低下を確認
			◆緑視率の増加	◆緑視率の測定 施工前後の測定値の比較により、緑視率を整備後6年間測定(マ ニュアルについては必要に応じて改正)を行い、緑量の増加を確認
			◆利用者の猛暑対策事業に対する感想 ・対策実施場所において事業効果 を感じた利用者の割合	◆アンケート調査の実施 ・事業者が実施 ・実施方法については、QRコード、ネット等手法については検討中 ・アンケート項目については検討中